

旧 ChemStation と OpenLAB CDS 2 との比較

項目	旧 ChemStation	OpenLAB CDS 2
ユーザーインターフェース	メニューやボタンがたくさんあり、何の機能があるのか分かりづらい。	リボンメニューとポップアップメニューで操作一新。分かりやすく、操作の手数が少ない画面。
起動と解析の動作速度	遅い。	マルチ画面を新採用し、不要な画面展開を削減。ボトルネックになっていた旧式マクロを排除。再解析速度は世界一。
解析操作	手数が多し。	ワンクリックでのデータ呼び出しや解析画面のレイアウトの自由設定を導入し、見やすく、手数が少ない解析操作を実現。ピークエクスプローラでクロマトグラムの差異を一瞬で表示。
ピークの積分	思い通りに積分することが難しい。	マニュアル積分により操作の手数が大幅削減。どんなに小さなピークでも思いのままに積分可能。
レポート編集	Bバージョンのレポートは、ユーザーは編集不可。	ユーザーが容易に自由に編集できる、インテリジェントレポート機能を標準搭載。
データインテグリティ対応	データが消せる、ログが分かりづらい、データインテグリティ対応に難あり。	Workstation Plus では、標準でデータベースを搭載。データ消去・改ざんの課題を解決。監査証跡の簡単なデータレビュー操作を実現。
他社装置コントロール	不可。	島津、Waters など他社製クロマトグラフのコントロールが可能。

OpenLAB CDS 2 による LC 測定



www.agilent.co.jp/chem/openlab

カスタムコンタクトセンタ

0120-477-111

email_japan@agilent.com

本資料掲載の製品は、すべて研究用です。本資料に記載の情報、説明、製品仕様等は予告なしに変更されることがあります。アジレントは、本文所に誤りが発見された場合、また、本文書の使用により付随的または間接的に生じる損害について一切免責とさせていただきます。

アジレント・テクノロジー株式会社
© Agilent Technologies, Inc. 2017
Published in Japan, November 30, 2017
5991-8729JAJP

分析をスムーズに開始できる直感的で操作しやすい画面

リボンインターフェースの採用

作業に必要な設定画面がワンクリックで表示できるよう Microsoft Office と同じリボンデザインを採用しました。表示したい項目のみをワンクリックで速やかに表示できるので、設定画面を探す手間を軽減できます。

柔軟な分析の追加

ランキュー上で追加されている測定の状況が一目で確認できます。また、各ランの情報「詳細」から確認できます。測定中にシーケンスやシングルランを自由に追加できます。さらに、別のユーザーに切り替えて分析を追加することも可能です。

直感的に把握できる装置の状況

ChemStation / EZChrom と同様に、各モジュールのオン・オフ操作、ステータス情報、ポンプの圧力変動率（リップル）や溶媒組成比率といった情報、エラーなどが一目で把握することができます。また、各パラメータの設定方法は従来と同じなので、新たに操作手順を覚え直す必要はありません。

The screenshot displays the OpenLAB CDS 2 software interface with several key panels:

- Machine Status (機器ステータス):** Shows real-time data for the sampler (流量: 1.000 mL/min, 圧力: 8.716 MPa, リップル: 1.41%), column oven (温度: 40.02°C), and DAD detector (190-400 nm ステップ 2.0 nm).
- Run Queue (ランキュー):** A table listing runs with columns for status (中断, 完了, 測定中), type (シーケンス, シングルサンプル), result name, user, and method.
- Online Signal (オンラインシグナル):** Displays chromatograms for VWD absorbance and signal reference at 254 nm.
- Sequence Editor (シーケンス - 無題):** A table for editing the analysis sequence with columns for run number, vial, sample type, and method.

測定中のデータを解析できるスナップショット機能

測定中のデータを途中で解析する際、オンラインシグナルの「カメラボタン」をクリックするだけで、測定の完了を待たずに測定中のデータを解析することができます。解析後の結果をレポートに出力することもできます。

簡単な連続分析テーブル（シーケンス）編集

連続分析テーブル（シーケンス）の編集は、非常に簡単な操作で行うことができます。行の追加や削除は、アイコンをワンクリックするだけででき、右クリックすればセルの下へコピーなどの操作が行えます。印刷レイアウトの画面に表示されているレイアウトで印刷されます。